

北上市総合計画 2021～2030 令和7年度基本施策事後評価シート（評価対象期間:令和6年度）

基本方針	7.良好な住環境を支える適切な土地利用と基盤整備
基本施策	7-2.市民生活を支える社会インフラの強化
関連するプロジェクト	

平常時も災害時も市民生活を支えるライフラインとしての機能が確保されるよう、地域経済を支える道路ネットワークを整備するとともに、生活環境の整備及び公共施設の長寿命化を着実に推進します。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価
B

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

R6事後
16

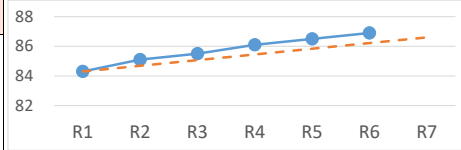
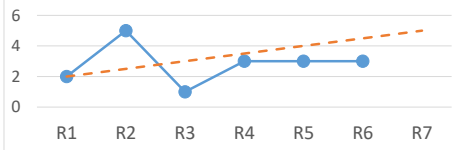
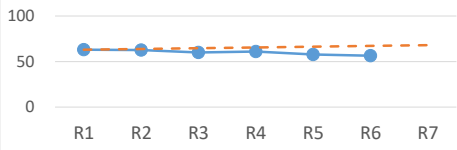
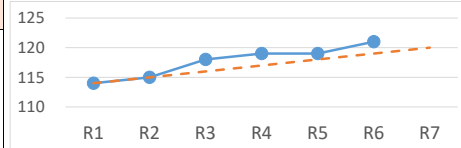
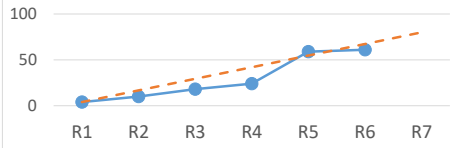
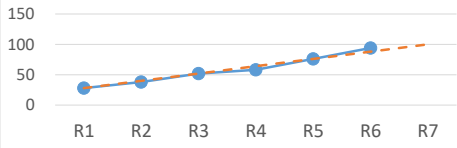
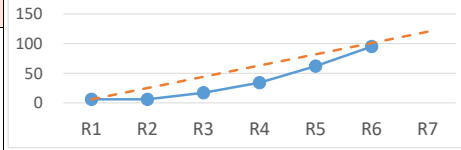
No.	担当 部等	プロ ジェ クト	推進方針(R6)		成果 指標	推進方針に対する達成状況(対象：R6)		達成状況 評 価	達 成 状 況 に 至 る 要 因 の 分 析				今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かれること) (◇：R7/◆：R8以降)
									市の活動による影響(内部要因)		社会環境の変化等による影響(外部要因)		
1	都市 整備 部		効率的で 適正な汚 水処理の 推進	処理区域内の水洗化率の向上を図るため、集合処理区域においては融資あっせん制度等、個別処理区域(合併処理浄化槽補助対象区域)については補助金制度等の、より一層の周知の推進を図る。	①	指標に基づく事実	①行政区域内の水洗化率は、86.9%となり、期待値を上回っている。	A	指標に関する内容	①集合処理区域 排水設備改造資金利子補給金3件、公共樹設置(市設置)36件により、水洗化率の向上に繋がった。 ①合併浄化槽区域 合併処理浄化槽設置補助金案内通知961件、同補助金の交付49件、排水設備改造資金利子補給金1件により、水洗化率の向上に繋がった。	指標に関する内容	①民間投資による開発行為6件、公共樹設置(受贈)56件により、水洗化率の向上に繋がっている。	集合処理区域(公共下水道) ◇引き続き、水洗化勧奨文書を送付し、対象区域内の水洗化を促す。 また、排水設備改造資金利子補給金により、水洗化率の向上に繋げる。 合併浄化槽区域 ◇合併処理浄化槽設置補助金及び利子補給金について、対象者への通知のほか、広報や本庁モニターへ掲示を行い水洗化率向上に繋げる。 ◇国の浄化槽設置補助金の補助基準額がR8.4月から引き上げられる予定であることから、北上市合併処理浄化槽設置補助金(市単独事業)についても、補助限度額を引き上げる
						指標以外の事実		(A)	指標以外の内容	指標以外の内容			
2	都市 整備 部		耐震診断 及び改修 費用の支 援	昭和56年以前に建築された木造住宅の耐震化を促進するため、耐震診断及び耐震改修に伴う費用の支援を行い、震災に強いまちづくりを推進する。	②	指標に基づく事実	耐震診断実施数は3件、耐震改修実施数は0件であり、期待値を下回った。	C	指標に関する内容	・耐震診断後、耐震改修工事を希望する方も多いが、昭和56年以降に増築している住宅は耐震改修補助対象外であるため、補助制度を利用できる方がいない。 ・耐震改修工事の補助金の上限額が100万円なので、改修事業費の総額に比べ、補助金額が低額となっている。	指標に関する内容	・耐震診断補助金を5件希望しているが、県予算は3件にとどまっている。 ・補助対象となる昭和56年以前に建築された木造住宅が建替えや取壊しにより減少している。	◇県補助を活用した事業であり、全県的に災害に強いすまいづくりに取り組む必要があり、住宅の耐震性の確認と耐震改修の意識啓発を図るため、引き続きホームページや広報等を活用し周知を行う。
						指標以外の事実		(C)	指標以外の内容	指標以外の内容			
3	都市 整備 部		市営住宅 の適正な 維持管理 と供給	市営住宅長寿命化計画により劣化度合や住環境の現状を明らかにし、計画的に施設・設備の改修等を行う。また、民間住宅等の市況を捉え、市営住宅の集約化、廃止を進める。	③	指標に基づく事実	入居率は前年度比では1.3ポイント減(57.7%→56.4%)となり、期待値(67.2%)よりも大幅に低くなっている。	B	指標に関する内容		指標に関する内容	・入居申込件数の増(18件→23件)、退去戸数の減(45戸→40戸(市営住宅間の移転者を除く))となっているが、退去戸数が入居申込件数を上回っているため、全体の入居戸数が減少している。 ・高齢化により1・2階などの低層階住戸を求める人が多いが、空きが出にくく入居につながらない。 ・建物の老朽化により修繕費用が多額にかかり、入居募集を行えない住戸が多数ある。 ・中層住宅の3、4階の入居募集に対し、応募者数が少ない状況である。	◇市営住宅長寿命化計画の見直しを行い、同計画に基づき、引き続き計画的に改修・廃止を行っていく。 ◇市営住宅廃止に伴う民間住宅活用事業の再検討を行う。
						指標以外の事実	・長寿命化計画に基づき、高屋沢住宅1・2号棟給排水等改修工事、荒屋住宅1号棟外壁等改修工事を行った。 ・佐野住宅4棟12戸、春木場住宅2棟8戸の用途廃止を行い、目標戸数(R6年度：20戸)を達成した。	(B)	指標以外の内容	市営住宅長寿命化計画に基づき、計画的に市営住宅の解体を実施できた。	指標以外の内容		

No.	担当 部等	プロ ジェ クト	推進方針(R6)		成果 指標	推進方針に対する達成状況(対象：R6)		達成状況 評 価	達 成 状 況 に 至 る 要 因 の 分 析				今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かれること) (◇:R7/◆:R8以降)
									市の活動による影響(内部要因)		社会環境の変化等による影響(外部要因)		
4	都市 整備 部		景観意識の啓発と景観活動の推進及び景観に影響を与える行為の制限等	小中学校の景観学習や市民向けの景観人養成講座を更に推進し、人材育成を図る。 一定規模以上の建築物や開発行為等の造成工事等で景観に影響を与える行為の制限について広く周知及び指導を行い、良好な景観形成を図る。	④	指標に基づく事実	R6年度の景観資産の応募・認定は1件であったが、期待値を上回っている。	B	指標に関する内容	・景観資産の情報発信を実施した。(広報さたかみ、ホームページ、写真展開催)	指標に関する内容	高齢化をはじめとした担い手不足により、景観資産認定団体における活動の維持が困難となってきた。	
						指標以外の事実	・景観人養成講座は実施していない。 ・良好な景観形成のために景観賞決定(1件)、景観学習(19回)、行為届出処理(104件)を実施した。		(B)	指標以外の内容	・子供のころから景観に関心を持ってもらう景観学習を優先したため、景観人養成講座は実施しなかった。 ・小学校5校で景観学習を計19回実施した。 ・地域の魅力を高める景観づくりの工夫と実践の理解を深めることを目的として景観フォーラムを開催した。 ・景観賞を審査し、1件を決定した。 ・行為届出処理として、景観形成強化区域15件、その他区域89件の建築物、工作物等の確認を実施した。	指標以外の内容	
5	都市 整備 部		みどりのまちづくり	市街地の見えるみどりを創出する。 幅広い年代を対象とした講習会の実施、緑化のとりくみや公園の活用に関する情報の発信に努める。	未設定	指標に基づく事実		C	指標に関する内容		指標に関する内容		「みどりのまちづくり事業」 ◇令和7年度にみどりのまちづくり事業内容の再検討実施。 「桜守事業」 ◇身近なみどりの保全、展勝地等への愛着をより一層深めてもらうため、引き続き普及啓発事業を継続していく。 ◆桜守事業の内容再検討。
						指標以外の事実	・「みどりのまちづくり事業費補助金」の申請数:1件 ・桜守事業として、樹木管理アドバイザーによる講演会、展勝地桜並木剪定講習会、展勝地公園お花見広場及び東陵中学校敷地内の桜の施肥作業講習会により、身近なみどりの保全についての普及啓発を実施した。(全2回、参加者延べ186名)		(C)	指標以外の内容	・「みどりのまちづくり事業費補助金」について、補助対象経費の拡大・補助上限額の引き上げを行ったが、申請件数が伸び悩んだ。 ・緑化の取り組みとして、桜守事業を一般企業や中学生をまきこんだ事業を実施し、多くの方に参加いただいた。	指標以外の内容	
6	都市 整備 部		空き家対策の推進	空き家バンクや補助制度等の活用による空家等の利活用の促進を図るとともに、危険空き家等への対策を強化していく。	⑥⑦	指標に基づく事実	⑥バンク登録件数(延べ数)は、期待値を上回る実績となった。(期待値63、実績値94、前年度比プラス18)。 ⑦補助金交付件数(延べ数)は、期待値を大幅に超え、3年連続で期待値を上回った(期待値43、実績値95、前年度比プラス33)。	A	指標に関する内容	⑦周知等の結果、解体補助及び整備補助は前年度に引き続き需要が高い。また、移住者や39歳以下を対象とした取得補助に2件、改修補助については2件の交付決定を行った。また、R6年度から運用開始した危険空き家等除却補助(交付決定1件)により、危険度の高い空き家の解体も徐々に進められている。	指標に関する内容	⑥整備補助対象者が空き家バンクに登録することで登録数の増加につながっている。 ・資材費や人件費の高騰により、新築のイニシャルコストの観点から、空き家の需要が増えてきているものと推察される。	◇空き家バンクを継続して運営していく。 ◇管理不全空家等に対するガイドライン(R6年度策定)に基づき、管理が十分でない空家等を管理不全空家等に認定し、指導・勧告を行ったうえで、必要な措置に対応しない場合、住宅用地特例の対象から除外する。 ◆相続人不存在の空き家について相続財産清算人を選任し、当該空家等の適切な処分・活用を図る。
						指標以外の事実			(B)	指標以外の内容		指標以外の内容	

No.	担当 部等	プロ ジェ クト	推進方針(R6)		成果 指標	推進方針に対する達成状況(対象：R6)		達成状況 評 価	達 成 状 況 に 至 る 要 因 の 分 析				今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かれること) (◇:R7/◆:R8以降)
									市の活動による影響(内部要因)		社会環境の変化等による影響(外部要因)		
7	都市 整備 部		公園緑地の整備及び適正な維持管理と長寿命化	未整備となっている街区公園(4公園)の整備計画策定に着手する。 公園施設長寿命化計画に基づき、老朽化した公園施設の更新を図る。 樹木管理アドバイザーの指示のもとに桜並木の計画的な管理を行い、長寿命化を図る。	⑤	指標に基づく事実	都市公園の長寿命化対策数は、期待値に対して9割程度の進捗まで上昇。	B	指標に関する内容	・公園整備事業から長寿命化事業へ資源を振り向けたことにより、事業進捗が向上。	指標に関する内容	・物価高騰に伴い、工事価格が上昇しており、予定の工事発注を行わないため、期待値に届いていない。	◇公園長寿命化計画(旧)に基づいた、対策工事の実施。 ◇R6年度に策定した公園施設長寿命化計画に基づき、R8年度の整備内容を検討する。 ◇展勝地公園お花見広場、陣ヶ岡、桜づつみ線などの展勝地桜並木以外の桜スポット等について、育成管理計画を策定。 ◇未整備街区公園4公園の整備計画を策定する。 ◆展勝地公園お花見広場、陣ヶ岡、桜づつみ線などの展勝地桜並木以外の桜スポット等の長寿命化計画に着手する。
						指標以外の事実	・4公園の整備計画策定検討に着手済み。 ・桜管理アドバイザーの指示のもと、市立公園展勝地の桜並木長寿命化対策工事(土壌改良)をR6年度62本実施。		(B)	指標以外の内容	・整備計画については策定に向けて、基礎資料収集等、実施。 ・アドバイザーの指導の下、計画通り桜並木長寿命化対策を実施。	指標以外の内容	
8	都市 整備 部		駐車場の適正な管理運営	老朽化が進む本通り駐車場の適正な維持管理のため、計画的な修繕・更新工事を推進する。	未設定	指標に基づく事実		B	指標に関する内容		指標に関する内容		◇本通り駐車場西館車路防滑改修工事 ◇本通り駐車場区画線塗装修繕工事
						指標以外の事実	・東館6～7階の車路防滑工事、東館1階のスロープ防水改修工事を実施した。 ・精算機改修工事、入出場口シャッター修繕工事等を実施した。		(B)	指標以外の内容	指定管理者との合同会議を開催し、修繕更新計画を更新。	指標以外の内容	
9	都市 整備 部		道路整備	交通量が増加し、渋滞が発生していることから、計画されている市道整備を実施するなど、幹線整備をしていく。 整備が必要な生活道路等については、要望する地域が自主的に地権者協議等を行い、実施可能性、将来的に見込まれる利用者数などを考慮して優先順位付けを行うなど、条件が整い次第、道路整備を実施する。また、地域独自で舗装等を行う場合には、支援を行う。	未設定	指標に基づく事実		B	指標に関する内容		指標に関する内容		○幹線道路 ◇林崎蒲谷地線：用地補償 ◆林崎蒲谷地線：R11完成予定 ◇川原町南田線：道路改良、橋梁詳細設計 ◆川原町南田線：R9完成予定 ◇飯豊成田線：道路詳細設計、用地測量 ◆飯豊成田線：R12完成予定 ○生活道路 ◇生活道路整備手法の見直しを行い、事業費のコスト削減を図る。 また、事業期間の延伸を行い計画完了時期をR12→R17とする。 (各地区に対し説明会を実施中 8/6時点で10地区/16地区完了) ◇着手済み9路線 うち、整備完了8路線、 （新規0件） みちづくり事業 1地区 ◆生活道路整備事業 未着手路線41路線を着手予定
						指標以外の事実	○幹線道路 ・林崎柳田線の整備(用地補償) ・川原町南田線の整備(道路詳細設計) ・飯豊成田線(道路予備設計) ○生活道路 ・生活道路等整備予定数(R3～R12) 50路線 うち、整備着手 9路線 うち、整備完了 3路線、 ・みちづくり事業 3地区実施		(B)	指標以外の内容	○幹線道路 社会資本整備総合交付金及び旧デジタル田園都市国家構想交付金が採択されたことにより概ね順調 ○生活道路 ・生活道路整備： 前計画からの未完了路線(14路線)を優先的に整備していたため現計画50路線の進捗に遅れが生じている。(R6時点で前計画は14路線中13路線が完了) ・交付金を充てて事業をすることを前提としており、用地買収や補償費により事業費が増大している。	指標以外の内容	

No.	担当 部等	プロ ジェ クト	推進方針(R6)		成果 指標	推進方針に対する達成状況(対象：R6)		達成状況 評 価	達 成 状 況 に 至 る 要 因 の 分 析				今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かれること) (◇:R7/◆:R8以降)
									市の活動による影響(内部要因)		社会環境の変化等による影響(外部要因)		
10	都市 整備 部		国県道、 河川整備 等に関する 要望	道路・河川整備については、他市町・民間企業等と協力しながら、或いは北上市単独で国や県に対して地域の安心安全を確保するための大規模な社会資本整備を要望していく。	⑧	指標に基づく事実	国道4号北上拡幅については、R5年度に500m供用開始し、R7年度の全線開通に向けて工事を進めている。北上花巻拡幅については、用地取得・工事に着手いただいている。	B	指標に関する内容	年2回、期成同盟会の幹事市として、各所への要望活動で必要性を訴えた結果、予算が確保される等4車線拡幅事業に影響を及ぼしている。	指標に関する内容	防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策により事業が促進されている。	◇北上拡幅が全線供用開始される見込みであることから、残り区間についても早期に完成してもらうよう引き続き要望活動を行っていく。 ◇市道川原町南田線及び市道飯豊成田線について支援を要望していく(新しい地方経済・生活環境 創生交付金の要望)
						指標以外の事実	・秋田自動車道:大曲IC～北上西ICが事業化(横手北～大曲ICがR6.3に新規事業化) ・市道川原町南田線、市道飯豊成田線が旧デジ田採択	(B)	指標以外の内容	主に下記の内容で要望会を開催した。 ・秋田自動車道四車線化促進期成同盟会:5月、10月 ・北上金ケ崎パシフィックルート整備促進期成同盟会:11月 ・東北横断自動車道釜石秋田線北上JCT江刺田瀬IC間整備促進期成同盟会:11月 ・旧デジ田にかかる単独要望:9月 ・その他21の期成同盟会や協議会の要望会等の活動に参加	指標以外の内容		
11	都市 整備 部		橋梁長寿 命化修繕	点検の結果、橋梁修繕工事の必要性について順位付けを行い、長寿命化を行っていく。橋梁修繕工事については、国の助成を利用して計画的に実施していく。	未設定	指標に基づく事実		B	指標に関する内容		指標に関する内容		◇(予定) 補修完了済橋梁数:8橋 補修着手済橋梁数:4橋 補修未着手橋梁数:23橋 (R7新規着手:1橋) ◆今後も引き続き点検により修繕が必要と判断された橋梁の修繕工事を計画に基づき実施していく。 一方で、JR跨線橋の修繕及び耐震補強に多額の費用がかかるため、小規模の橋梁の補修工事の着手に遅れが生じる可能性がある。
						指標以外の事実	補修予定橋梁数 35橋 うち、補修完了橋梁数 5橋 補修着手済橋梁数 6橋 補修未着手橋梁数 24橋	(B)	指標以外の内容	・橋梁修繕工事は概ね実施でき順調である。 ・JR跨線橋については、補修工事をJRに委託し実施しているが、跨線橋の補修工事に費用を優先的に配分している。	指標以外の内容	物価高騰により事業費が高騰している。	

凡例 ●実績値 —期待値

指 標 ①		指標の説明								
処理区域内水洗化率	行政区域内における水洗便所設置済人口の割合。									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
都市整備部	%	実績値	84.3	85.1	85.5	86.1	86.5	86.9		
		期待値 ※R7は目標値	84.3	84.7	85.1	85.5	85.8	86.2	86.6	
		備 考								
指 標 ②		指標の説明								
耐震診断・耐震改修実施数	木造住宅耐震診断支援事業を利用した件数									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
都市整備部	件/年	実績値	2	5	1	3	3	3		
		期待値 ※R7は目標値	2	2.5	3	3.5	4	4.5	5	
		備 考								
指 標 ③		指標の説明								
市営住宅入居率(管理戸数に対する入居戸数の割合)	市営住宅管理戸数に対する入居戸数の割合									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
都市整備部	%	実績値	63.0	62.6	60.0	61	57.7	56.4		
		期待値 ※R7は目標値	63.0	63.8	64.7	65.5	66.3	67.2	68.0	
		備 考								
指 標 ④		指標の説明								
きたかみ景観資産の認定数	きたかみ景観資産の認定を行った件数									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
都市整備部	件	実績値	114	115	118	119	119	121		
		期待値 ※R7は目標値	114	115	116	117	118	119	120	
		備 考								
指 標 ⑤		指標の説明								
都市公園の長寿命化対策数累計(補助対象(遊具等更新))	長寿命化計画における都市公園施設長寿命化対策(更新)必要数									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
都市整備部	施設	実績値	4	10	18	24	59	61		
		期待値 ※R7は目標値	4	17	29	42	55	67	80	
		備 考								
指 標 ⑥		指標の説明								
空き家バンク登録延べ件数	空き家バンクに売買・賃貸物件として登録した件数									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
都市整備部	件	実績値	28	38	52	58	76	94		
		期待値 ※R7は目標値	28	40	52	64	76	88	100	
		備 考								
指 標 ⑦		指標の説明								
空き家利活用促進事業補助金交付延べ件数	補助金を利用して改修・解体を実施した件数									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
都市整備部	件	実績値	6	6	17	34	62	95		
		期待値 ※R7は目標値	6	25	44	63	82	101	120	
		備 考								
指 標 ⑧		指標の説明		—						
国道4号線等の4車線化	2車線区間の4車線化									
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
都市整備部		実績値	一部2車線	一部2車線	一部2車線	一部2車線	一部2車線	一部2車線		
		期待値 ※R7は目標値							拡幅事業着手	
		備 考	拡幅未着手	拡幅未着手	拡幅未着手	拡幅着手	拡幅着手	拡幅着手		
指 標 ⑨		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値								
		期待値 ※R7は目標値								
		備 考								
指 標 ⑩		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値								
		期待値 ※R7は目標値								
		備 考								
指 標 ⑪		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値								
		期待値 ※R7は目標値								
		備 考								
指 標 ⑫		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値								
		期待値 ※R7は目標値								
		備 考								
指 標 ⑬		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値								
		期待値 ※R7は目標値								
		備 考								
指 標 ⑭		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値								
		期待値 ※R7は目標値								
		備 考								
指 標 ⑮		指標の説明								
担当部等	単位		R1 (現状値)	R2	R3	R4	R5	R6	R7	
		実績値								
		期待値 ※R7は目標値								
		備 考								